電気興業株式会社

2026 年 11 月 10 日

次期基幹システム刷新プロジェクトを本格展開

～業務プロセスの標準化とデータ活用の高度化により、業務効率向上を推進し経営基盤を強化～

電気興業株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：近藤忠登史、以下「当社」）は、経営基盤の強化と持続的な企業価値向上に向け、2029 年 4 月の本稼働を目標に、次期基幹システム刷新プロジェクトを本格展開いたします。

本プロジェクトでは、ERP ソリューション「SAP® Cloud ERP」を中核とし、生産・工事管理、財務・管理会計、人事・給与管理、勤怠・工数管理などの各業務システムを連携させた統合業務基盤を構築します。業務プロセスの標準化とデータ活用の高度化を推進することで、業務効率の向上や経営判断の迅速化を実現し、将来にわたる持続的な成長を支える経営基盤の強化を目指します。

1. 刷新の背景

当社は、各種アンテナや通信設備などの電気通信関連事業と、高周波誘導加熱装置などの高周波関連事業を展開しています。製造・建設を含む幅広い業務を行う中で、部門ごとに蓄積されるデータの連携を強め、全社の業績と案件ごとの採算状況をタイムリーに把握できる仕組みが求められています。

これまで業務ごとに利用してきたシステムや管理資料を見直し、現場で発生する業務データを経営管理に活用することで、業務の効率化と経営判断の迅速化を支える基盤を整備します。

2. プロジェクトの目的

当社は、本プロジェクトを将来の成長に向けた重要な戦略投資と位置付けています。各業務で蓄積されるデータを迅速かつ有効に活用できる基盤を整備するとともに、事業拡大やビジネスモデルの変化に柔軟に対応できるよう、業務プロセスの標準化を進め、中長期的な企業価値の向上につなげてまいります。

具体的には、次の事項を目指します。

・経営情報の可視化と意思決定の迅速化

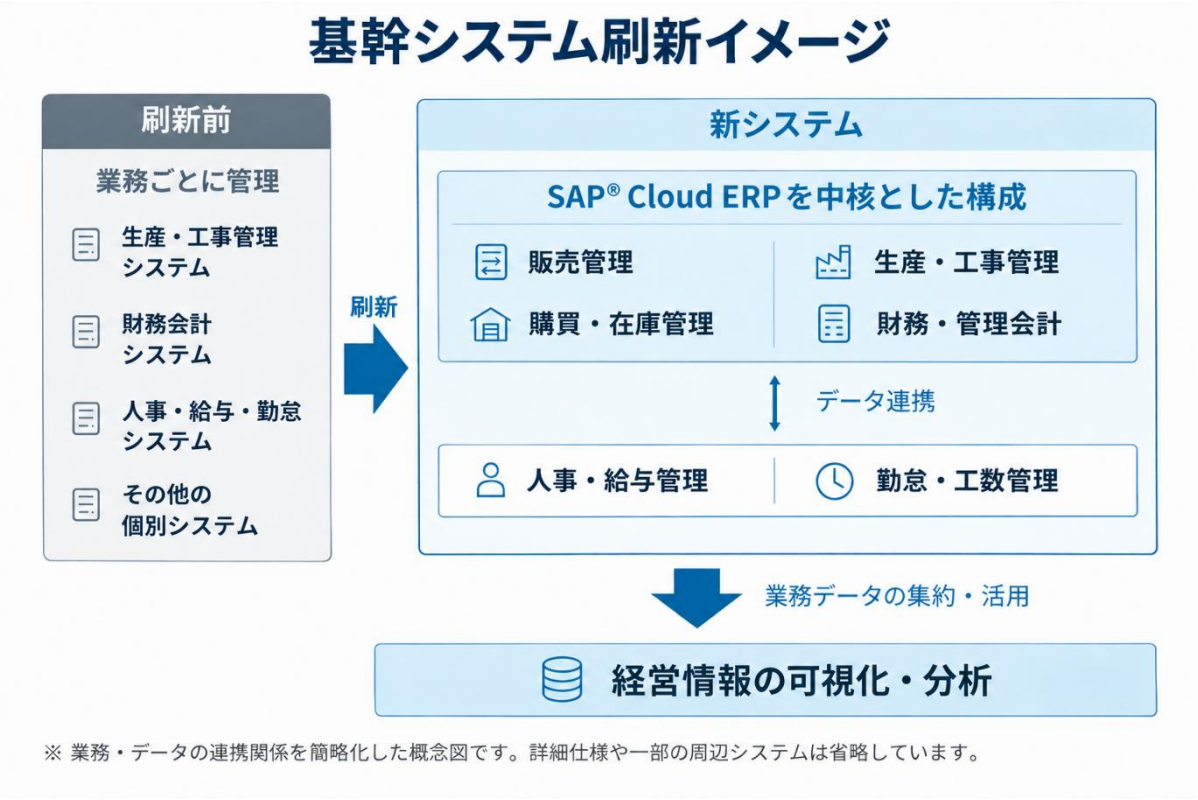
全社の業績と案件ごとの採算状況をタイムリーに把握し、データに基づく経営判断を支援します。また、決算業務や経営管理業務の効率化を通じて、経営情報を迅速に活用できる環境を目指します。

・部門間のデータ連携と業務効率の向上

販売管理、生産・工事管理、購買・在庫管理、財務・管理会計など、各業務のデータ連携を進め、二重入力や転記作業の削減を図り、業務効率を向上させます。

・継続的な業務改革を支える基盤の整備

システムの標準機能を最大限活用し、それに合わせて業務プロセスを見直し、過度なカスタマイズを抑えることで、将来的な事業環境の変化にも対応しやすい仕組みを構築します。



△基幹システム刷新イメージ図

3. 今後の予定

現行業務およびシステムの分析・整理を進めながら、設計・開発、テスト、利用者教育、データ移行などに段階的に取り組みます。

※ 記載の計画・目標は発表日時点のものであり、今後の検討・進捗により変更となる場合があります。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。

【お問い合わせ先】 電気興業株式会社　経営企画部　経営企画課

Tel　03-3520-8322
Mail　kouhou@denkikogyo.co.jp
Website　https://denkikogyo.co.jp/